

取扱説明書

モバイルアシスト®アプリケーション for iPhone

(ET-MAAPI)

Ver 4. X. XX

このたびは、本アプリケーションをご利用頂きまことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、モバイルアシスト®アプリケーション（以降本アプリケーションまたはアプリケーションと記載）をご利用する場合に使用します。
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。

- この「取扱説明書」に記載されていない機能については、主装置の取扱説明書または、モバイルアシスト®機能の取扱説明書をご覧ください。
- 主装置のデータ設定については、販売店にご依頼ください。

■本取扱説明書全体の注意点について

- 本取扱説明書及び本アプリケーションの一部または全部を無断で複製・転載することは、固くお断りします。
- 本取扱説明書及び本アプリケーションの内容について、改良・仕様変更のため予告なしに変更することがあります。
- 本取扱説明書中のイラスト及び画像は、説明用のため実際とは多少異なる場合があります。
また、説明に関係のない部分を一部省略している場合があります。
- 本取扱説明書中における端末（OS）側の設定に関する記載の表現や手順等は一例であり、ご利用の機種によっては、一部の表現や手順等が異なる場合があります。
- 本アプリケーションの一部機能において、iTunesに関する記載がありますが、「macOS」のPCを使用してiTunesを利用する場合、「10.15(macOS Catalina)以上」のバージョンのPCは使用しないようご注意ください（iTunesが利用不可のため）。
既に「10.15(macOS Catalina)以上」のバージョンのPCを使用している場合は、iTunesの代わりにPC内のFinderアプリケーション等をご利用ください。

■本取扱説明書に記載の各社商標について

- 「モバイルアシスト」は、株式会社ナカヨの登録商標です。
（表紙の記載を除き、本取扱説明書内では「®」を明記しておりません）
- iPhoneは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づいて使用されています。
- iOSは、Apple Inc.のOS名称です。
- IOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

主な特長

ワンタッチでモバイルアシスト機能が利用できます。

主装置電話番号を毎回ダイヤルする必要がありません。特番を事前にアプリケーションに登録することで主装置電話番号や特番を覚える必要もありません。

端末の電話帳を利用できます。

スマートフォンの標準電話帳に登録されている連絡先を利用して主装置経由で発信することができます。

主装置WEBにワンタッチで接続できます。

携帯ブラウザ連携機能が利用可能な場合、ワンタッチボタンに主装置WEBの接続ページを設定することで、ワンタッチで主装置WEBに接続できます。

本アプリケーションから発信した履歴を標準電話アプリとは別に管理できます。

モバイルアシスト機能は、必ず主装置経由で利用するため、標準の電話アプリには主装置の電話番号が履歴に残りますが、本アプリケーションの履歴には、主装置電話番号を除いた電話番号や特番のみ表示します。

外部アプリケーションと連携して本アプリケーションの起動～発信を行うことができます。

外部アプリケーションに表示されている電話番号をタップすることで本アプリケーションを起動し、各種発信を行うことが可能です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・本アプリケーションバージョン：2.0.00～

IPBT電話機と連携して電話番号転送からの主装置経由の発信または本アプリケーションからの携帯発信ができます。

主装置に接続したIPBT電話機とBluetoothでペアリングし、本アプリケーションからIPBT電話機へ電話番号を転送して主装置経由の発信または本アプリケーションからの携帯発信が可能です。また、本機能の利用においては、主装置へのモバイルアシスト機能用ライセンスキーの登録が不要です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：2.0.00～

主装置経由の着信時にPush通知で発信元の内線番号や外線番号の情報を取得できます。

主装置からの着信時、発信元の電話情報を取得し、発信者情報表示バナー(以降バナー)に表示することができます。ご利用のネットワーク環境によっては、バナーが正しく表示されないことがあります。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

- ・Siシリーズ 主装置プログラム版数：7-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：3.0.00～

主な特長

主装置のラインキー機能を利用して、発信及び着信・応答を行うことができます。

主装置と本アプリケーションのラインキーに関わる設定を行うことにより、本機能を利用することができます。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

・Siシリーズ 主装置プログラム版数：7-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：3.0.00～

ラインキー更新通知の通知音を設定することができます。

本アプリケーションの設定でラインキー更新通知時の通知音を変更することができます。

短音、15秒、30秒の通知音を選択することが可能です。

※本機能は以下バージョンにて利用可能です。

・Xシリーズ 主装置プログラム版数：1-1版～ 及び 本アプリケーションバージョン：4.0.00～

目次

主な特長	1
目次	3
1. 概要	4
アプリケーション導入上のご注意	4
動作確認済み機種一覧	6
2. アプリケーションの起動	7
アプリケーションの起動	7
3. アプリケーションの設定	9
主装置設定	9
MA 選択発信設定	10
ワンタッチ設定	12
一般設定	13
ペアリング設定	15
パスワード設定	17
インポート・エクスポート	19
プライバシーポリシー	21
Q&A	22
MA 選択発信設定、ワンタッチ設定のボタン位置変更	23
4. 操作方法	24
ワンタッチ（発信）	24
ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）	26
ダイヤル	30
履歴	33
連絡先	36
URL スキーム発信機能	39
IPBT 電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）	42
IPBT 電話機連携機能（本アプリケーションからの携帯発信）	43
着信時番号取得機能（Push 通知）	44
ラインキー機能（状態表示）	45
ラインキー機能（発信）	46
ラインキー機能（応答）	47

1. 概要

本アプリケーションは、iFシリーズまたはSiシリーズ、Xシリーズのモバイルアシスト機能（以降MA、iFシリーズは【主装置プログラム版数：4-1版】より利用可能）を簡単な操作で利用していただくための支援アプリケーションです。

※本取扱説明書内において「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」などの表記は後継の主装置シリーズ（「Xシリーズ主装置プログラム版数：1-1版」など）を含みます。

アプリケーション導入上のご注意

- ① 本アプリケーションは、カスタムROMやRoot化された端末、改造された端末では動作保証しておりません。
- ② 本アプリケーションは、電話発信をする場合、標準電話アプリを利用します。標準電話アプリ以外のアプリケーションを利用している場合や、端末として機能を無効にしている場合は、正常に動作しない場合があります。
- ③ 本アプリケーションの連絡先には、スマートフォンで利用している連絡先が表示されます。標準インストールされている連絡先アプリケーション以外を標準アプリケーションとして利用している場合や、連絡先へのアクセスが制限されている場合は、正常に動作しないことがあります。
- ④ 本アプリケーションを利用して電話発信をする場合は、携帯電話の通話料金が発生します。
- ⑤ 携帯ブラウザ連携機能を利用する場合は、データ通信及びパケット通信料が発生します。
- ⑥ MA発信やMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）を行った場合、主装置一次応答信号（ツツ・・・・）のあとに、特番や内線番号のプッシュ信号（PB信号）が聞こえます。
- ⑦ 携帯ブラウザ連携機能を利用する際はセキュリティを確保するため、「ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）ご注意」欄に記載の手順を参考にルート証明書のインストールを必ず行ってください。
- ⑧ URLスキーム発信機能以外で音声認識アプリケーション等の他のアプリケーションから本アプリケーションを起動できる場合がありますが、その場合の動作保証はしません。
- ⑨ 利用前に端末側の本アプリケーションに関する設定を必ずご確認ください。「連絡先」や「Bluetooth」へのアクセス、「通知を許可」の設定が無効の場合、履歴画面や連絡先画面の表示、IPBT電話機連携機能（ペアリング設定を含む）を行うことができません。
- ⑩ 標準電話アプリはiOS14より着信時の表示を「バナー」で表示することができますが、バナー表示に設定している場合、本アプリケーションのバナーと表示が競合する恐れがあり、正常にバナー表示が行えない場合があります。正常にバナー表示していただくには標準電話アプリの表示設定を「フルスクリーン」にしてご利用ください。

設定はホーム画面から「設定」→「電話」→「着信」→「フルスクリーン」の順にタップしてください。



- ⑪ 本アプリケーションのバナースタイルは「持続的」に設定してご利用ください。「一時的」に設定している場合、バナーが非表示になると通知音鳴動が停止します。
設定はホーム画面から「設定」→「モバイルアシスト」→「通知」→「バナースタイル」の順にタップしてください。
※本アプリケーションのバナーを表示中に新たなPush通知を受信してもバナー表示は更新されません。
最新の情報を表示したい場合は、手動で非表示にしてください。
※「一時的」設定におけるバナーの表示時間はOSに依存します。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- ⑫ iOS14以上では、デフォルトで使用するWebブラウザやメールアプリケーションの変更が可能です。本アプリケーションを使用する場合、Webブラウザは「Safari」、メールアプリケーションは「標準メール」にしてください。他のアプリケーションをデフォルトで設定すると正常に動作しない場合があります。
- ⑬ Xシリーズ主装置で利用する場合は「本アプリケーションバージョン：4.0.00～」が必要となります。
- ⑭ 「Xシリーズ主装置プログラム版数：2-1版～」をご利用の場合は主装置設定のサーバ証明書自動更新機能を使用することで導入時の証明書インストール操作が不要になります。詳細は、販売店にご確認ください。

1. 概要

動作確認済み機種一覧

- 本アプリケーションの動作確認済み機種は、サポートページをご参照ください。

モバイルアシストアプリケーション サポートページ

<https://www.hoshunet.jp/fsc/qa/MA/maap.html>

※1：スマートフォンのOS自動バージョンアップ（「夜間にアップデート」の設定）は行わないでください。

iOS12.0よりOS設定の中に「自動アップデート」に関する設定が追加されていますが、設定値は「無効」にしてご利用ください。

※2：iOS13以上の端末において、端末側の「画面表示と明るさ」の設定で「外観モード」を「ライト」設定にしている場合でも、本アプリケーションは「ダーク」設定の場合と同様の画面表示及び動作となります。ただし、端末（OS）側で表示するダイアログ等については、端末側の画面表示及び動作に依存します。

2. アプリケーションの起動

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動します。

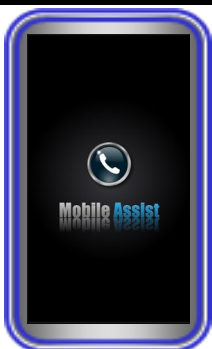
1

アプリケーションアイコン
をタップする。



2

アプリケーションの
起動画面が表示される。



基本スクリーンが表示される。



【補足説明】

- 基本スクリーンは、設定で変更することができます。
- パスワード設定をしている場合は、基本スクリーンが表示される前にパスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力後に「OK」ボタンをタップすると、基本スクリーンが表示されます。



- アプリケーションの初回起動時に以下（一例）のような各ダイアログ（連絡先へのアクセス、Bluetoothの使用（iOS13以上の端末で表示）、通知の表示に関するダイアログ）が表示された場合、「OK」や「許可」のボタンをタップしてください。
各ダイアログで「許可しない」ボタンをタップした場合は、端末側の設定で本アプリケーションに関する「連絡先」や「Bluetooth」へのアクセス、「通知を許可」の設定を有効にする必要があります。設定が無効の場合、以下の機能を利用することができません。

①履歴画面や連絡先画面の表示

②IPBT電話機連携機能（ペアリング設定を含む）

連絡先へのアクセス

“モバイルアシスト”が連絡先へのアクセスを求めています
モバイルアシストアプリでは、連絡先の情報が使用されます。

許可しない OK

Bluetoothの使用

“モバイルアシスト”がBluetoothの使用を求めています
モバイルアシストアプリでは、IPBT転送で使用されます。

許可しない OK

通知の表示

“モバイルアシスト”は通知を送信します。よろしいですか？
通知方法は、テキスト、サウンド、アイコンバッチが利用できる可能性があります。
通知方法は“設定”で設定できます。

許可しない 許可

3. アプリケーションの設定

主装置設定

本アプリケーションをMAで利用するための設定を行います。

- 1 本アプリケーションの
設定アイコン 
をタップする。



設定アイコン

- 2 設定画面が表示される
ので、「主装置設定」
をタップする。



【補足説明】

- 元の画面に戻る場合は、ナビゲーションバーの「<（設定ボタン
タップ時の画面）」をタップしてください。ナビゲーションバー
の表示は、直前の画面により表示内容が異なります。

- 3 各項目を設定する。



【設定項目の説明】

主装置電話番号	MAで利用する主装置の電話番号を設定します。 (最大16桁)
ポーズ時間	主装置一次応答後に追加ダイヤルをPB送出するま での時間を設定します。(初期値：3秒)
主装置MACアドレス	携帯ブラウザ連携機能を利用する場合、主装置の MACアドレスを設定します。(12桁)
主装置容量	利用する主装置のシリーズ、容量を設定します。 (初期値：X1/S)
httpsポート番号	主装置と通信するためのポート番号を設定します。 (初期値：50010)

【補足説明】

- ご利用の環境により、ポーズ時間を変更してください。
ポーズ時間が短いと主装置がPB受信できない場合があります。
- ポーズ時間は、主装置応答後にPB送出するまでの時間です。
- httpsポート番号を変更する場合は、主装置の設定変更が必要です。

- 4 設定が終わったら
「<設定」をタップし、
設定画面にもどる。



3. アプリケーションの設定

MA選択発信設定

MA選択発信設定に、主装置の外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を事前に登録することで、相手先に通知する発信者番号を選択することができます。

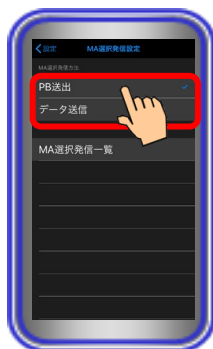
1

設定画面で
「MA選択発信設定」
をタップする。



2

MA選択発信設定画面
が表示される。
「MA選択発信方法」に
おいて、「PB送出」また
は「データ送信」をタッ
プし、「し点」を入れる。
※前の画面に戻る場合は、
「<設定」をタップする。



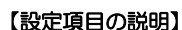
【補足説明】

- 初期値は「PB送出」が設定されています。
「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」において、インターネット経由の発信時間短縮機能を利用する場合は、「データ送信」を設定してください。
「データ送信」が設定されている場合、本アプリケーションの「主装置設定」-「主装置容量」においては、Siシリーズの「Si/S」、「Si/LA」、「Si/LB」及びXシリーズの「Xi/S」、「Xi/LA」、「Xi/LB」のいずれかのみ設定可能な状態となります。
- 本アプリケーションの「主装置設定-主装置容量」でiFシリーズの「iF/S」または「iF/M」が設定されている場合、MA選択発信設定画面が表示されないため、本手順の操作は不要です。
- 本手順で「データ送信」を設定する場合は、本アプリケーションの「パスワード設定」において、「携帯ブラウザ接続ID」と「携帯ブラウザ接続パスワード」も併せて設定してください。
※「データ送信」が設定されている場合でも、上記の「パスワード設定」が正しく行われていない場合や、本アプリケーションの「主装置設定」において、「主装置MACアドレス」が登録されていない場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

「MA選択発信一覧」を
タップすると、MA選択
発信一覧画面が表示さ
れる。

画面の  をタップすると、MA選択発信設定の登録画面が表示されるので、各項目を設定する。設定後に「保存」をタップする。

※設定を保存せずに、
前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする。



名称	MA選択発信時に表示する名称を設定します。 (最大12文字)
特番	外線自動発信グループやボタン指定捕捉特番を設定します。(最大7桁)
「#」ダイヤル付加	追加ダイヤルの最後に#付加をするか設定します。(スイッチを「ON」(緑色)にすると、有効になります)
特番後のポーズ時間	特番ダイヤルで外線捕捉後に追加ダイヤルを送り出すまでの時間を設定します。(初期値: 3秒)

【補足説明】

- ・リストは最大で10件まで登録できます。
 - ・実際の発信では、下記のダイヤルを本アプリケーションで自動作成します(※)。
- 利用する回線やゲートウェイの状況により適宜設定を追加してください。
- ダイヤル例：
- (主装置電話番号) + P + (特番) + P + 追加ダイヤル(相手先番号) + #
- ボース(*1) ボース(*2)
- *1：主装置設定のボース時間 *2：MA選択発信設定の特番後のボース時間
- ※手順2で「MA選択発信方法」を「PB送出」に設定している場合のみの動作となります
- (本アプリケーションバージョン：2.4.00～)。
- 「データ送信」に設定している場合、「#」ダイヤル付加」及び「特番後のボース時間」の設定は不要です。
- ・特番には※や* (いずれか1桁のみ) も設定可能(※)ですが、先頭には設定しないでください。
- 特番に#か*を設定する場合、「#」ダイヤル付加」の項目は「付加しない」に設定してください。
- ※主装置側のデータ設定に合わせてください
- (Siシリーズ、Xシリーズの場合)。
- ・本アプリケーションの「主装置設定-主装置容量」でiFシリーズの「iF/S」または「iF/M」が設定されている場合、手順1の操作後にMA選択発信一覧画面が表示されます。

MA選択発信一覧画面に
設定内容が追加される。

※前の画面に戻る場合は、
「<戻る」をタップする。



- ・設定内容を編集する場合は、編集したい項目をタップしてください。
 - ・設定内容を削除する場合は、下記の操作を行ってください。
- ①画面右上の「編集」をタップする。
 - ②削除したい項目の選択アイコン「」をタップする。
 - ③画面右に表示される削除ボタン「」をタップする。
 - ④削除確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップする。
※削除を中止する場合は、「キャンセル」をタップする。
 - ⑤画面右上の「完了」をタップする。
- ①を行った後の画面
- 



3. アプリケーションの設定

ワンタッチ設定

ワンタッチボタンに内線番号や特番、主装置WEBの接続ページを設定します。

1

設定画面で
「ワンタッチ設定」
をタップする。



2

ワンタッチ設定画面の
+ をタップすると、
ワンタッチ設定の登録
画面が表示されるので、
各項目を設定する。
設定後に「保存」をタ
ップする。
※設定を保存せずに、
前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする。



【設定項目の説明】

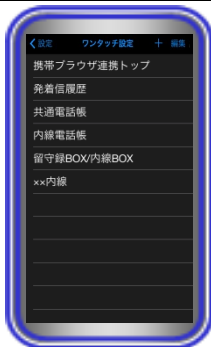
名称	ワンタッチ画面に表示する名称を設定します。 (最大12文字)
特番または内線番号	特番または内線番号を設定します。(最大16桁)
WEBページ指定	携帯ブラウザ連携機能で利用するWEBページを設定します。 ※特番または内線番号と同時設定することはできません。

【補足説明】

- ・リストは最大で24件まで登録できます。
- ・指定できるWEBページは以下のとおり。
 - ①携帯ブラウザ連携トップ：主装置のリモートMENU(トップページ)を指定します。
 - ②発信履歴：主装置の発信履歴ページを指定します。
 - ③共通電話帳：主装置の共通電話帳検索ページを指定します。
 - ④内線電話帳：主装置の内線電話帳検索ページを指定します。
 - ⑤留守録BOX/内線BOX：主装置の留守録BOX/内線BOX再生ページを指定します。

3

ワンタッチ設定画面に
設定内容が追加される。
※設定画面に戻る場合は、
「<設定」をタップする。



【補足説明】

- ・設定内容を編集する場合は、編集したい項目をタップしてください。
- ・設定内容を削除する場合は、下記の①を行った後の画面操作を行ってください。
 - ①画面右上の「編集」をタップする。
 - ②削除したい項目の選択アイコン「」をタップする。
 - ③画面右に表示される削除ボタン「」をタップする。
 - ④削除確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップする。
※削除を中止する場合は、「キャンセル」をタップする。
 - ⑤画面右上の「完了」をタップする。



3. アプリケーションの設定

一般設定

アプリケーション起動時の表示画面や発信方法を設定します。

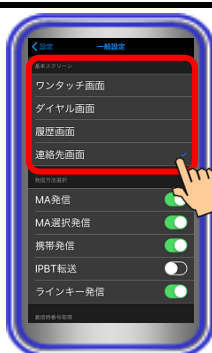
1

設定画面で
「一般設定」
をタップする。



2

基本スクリーンは、起動時に表示する画面を設定するので、アプリケーション起動時に表示する画面をタップし、「し点」を入れる。
※前の画面に戻る場合は、「<設定」をタップする。



3

発信方法選択では、発信操作時に表示するダイアログを設定するので、ダイアログに表示する場合は、スイッチを「ON」にする。
※前の画面に戻る場合は、「<設定」をタップする。



【補足説明】

- MA発信の場合、主装置電話番号発信後にPBで内線番号や特番を利用して発信をします。
- MA選択発信の場合、主装置電話番号発信後にPBでMA選択発信設定で設定した特番と追加ダイヤルを利用して電話発信することができます。
※インターネット経由の発信時間短縮機能を利用したMA選択発信をすることもできます（「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」）。
- 携帯発信の場合、携帯電話の番号でそのまま発信をします。
主装置経由の発信にはなりません。
※本アプリケーションをモバイルアシスト機能専用で利用する場合、「一般設定」-「発信方法選択」で、携帯発信をOFFに設定してください。
- IPBT転送の場合、ダイヤルした番号をIPBT電話機に転送して発信することができます。
- ラインキー発信の場合、主装置で割り当てられたラインキーのボタンを使用して発信することができます（「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」）。

4

着信時番号取得の有無を設定する。

MA着信時に主装置から発信元番号を取得する場合は、ONにする。

※前の画面に戻る場合は、「<設定」をタップする。



【補足説明】

- ・着信時番号取得機能は「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」でご利用できます。iFシリーズではご利用できません。
- ・着信時番号取得の設定を変更する場合は、「主装置MACアドレス」「主装置容量」「httpsポート番号」「携帯ブラウザ接続ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」が設定済みでなければ変更することができませんので、必ず設定をしてください。また、主装置側のプッシュ通知関連のデータ設定も必要になります。

5

ラインキーの利用有無を設定する。ラインキーを利用する場合はONにする。

※前の画面に戻る場合は、「<設定」をタップする。



【補足説明】

- ・ラインキー設定は「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」でご利用できます。iFシリーズではご利用できません。
- ・ラインキー設定を変更する場合は、「主装置MACアドレス」「主装置容量」「httpsポート番号」「携帯ブラウザ接続ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」が設定済みでなければ変更することができませんので、必ず設定をしてください。また、主装置側のプッシュ通知関連のデータ設定も必要になります。

6

ラインキー名称を変更する。ラインキーを選択し、名称を入力後、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



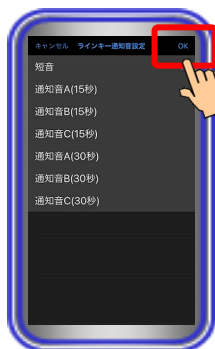
【補足説明】

- ・ラインキー名称の変更は「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」でご利用できます。また主装置容量をSiシリーズもしくはXシリーズのいずれかにしている場合のみ利用可能です。iFシリーズではご利用できません。
- ・ラインキーには本名称設定の文字列が最優先で表示されます。
- ・ラインキー1～16の名称設定ができます。
- ・最大全角8文字／半角16文字までの「かな/カナ/漢字/英数字/記号」の入力ができます。
※絵文字入力も可能ですが、1文字で複数文字として扱う場合があります（iOS12.0以降で追加された絵文字のみ入力可）。
- ・入力したラインキーの名称が1行で表示しきれない場合は2行で表示されます。

7

ラインキー更新通知の通知音を変更する。設定したい通知音を選択し、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



【補足説明】

- ・ラインキー通知音の変更は本アプリケーションバージョン：4.0.00」及び「Xシリーズ主装置プログラム版数：1-1版」より対応しています。
- ・通知音は、短音（デフォルト設定）、15秒音源（3種類）、30秒音源（3種類）から選択することができます。
- ・アプリのパナースタイルを「持続的」に設定してご利用ください。
- ・ラインキー更新通知のバイブレーションは通知音の種類に関係なくワンショットになります（OS動作）。
- ・本設定を行う前に「主装置MACアドレス」「主装置容量」「httpsポート番号」「携帯ブラウザ接続ID」「携帯ブラウザ接続パスワード」を設定し、ラインキー設定を有効にしてください。これらの設定が正しくできていない場合は本設定の変更ができません。

3. アプリケーションの設定

ペアリング設定

IPBT電話機連携機能利用時に、本アプリケーションとペアリングするIPBT電話機を設定します。

※本設定は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」で利用可能

1

設定画面で
「ペアリング設定」
をタップする。



【補足説明】

- 端末の「Bluetooth」設定を必ず有効にしてから、本設定を行ってください。端末の「Bluetooth」設定が無効の状態では「ペアリング設定」をタップした場合、右記のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをタップしてダイアログを閉じ、端末の「Bluetooth」設定を有効にしてから再度「ペアリング設定」をタップしてください。



2

デバイス検索画面が表示されるので、「開始」をタップする。



3

接続可能なIPBT電話機のデバイス名と電波強度が表示されるので、ペアリングするIPBT電話機のリストをタップする。
※デバイス検索を停止する場合は、「停止」をタップする。



【補足説明】

- 「接続可能デバイス」にIPBT電話機以外のBluetooth機器は表示されません。
- 「接続可能デバイス」にペアリングするIPBT電話機が表示されないことがあります。この場合は、再度「開始」をタップしてデバイス検索を行ってください。再度デバイス検索を行ってもペアリングするIPBT電話機が表示されない場合は、本アプリケーションまたはIPBT電話機の再起動を行ってください。

4

「ペアリングが完了しました。」のダイアログが表示されたら、「OK」をタップする。



5

ペアリング済みデバイスにペアリングしたIPBT電話機のデバイス名と「接続済み」が表示されていることを確認する。



【補足説明】

- ペアリング可能なIPBT電話機は1台のみです。複数のIPBT電話機とペアリングすることはできません。左記のようにペアリング済みデバイスにIPBT電話機のデバイス名が表示されている状態では、「開始」のタップは無効となります。
- ペアリング済みデバイスにIPBT電話機のデバイス名が「未接続」の状態が表示されている際、IPBT電話機とペアリングできる状態である場合にリストのタップで再度ペアリングすることが可能です。
※タップから数秒後に「接続済み」が表示されます。

6

操作5のような状態からペアリングを解除する場合はリストをロングタップすると、確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



7

IPBT電話機のペアリングが解除されていることを確認する。



3. アプリケーションの設定

パスワード設定

アプリケーション起動時のパスワードや携帯ブラウザ接続時に必要なID・パスワードを設定します。

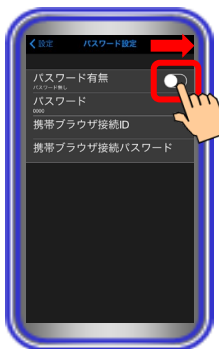
1

設定画面で
「パスワード設定」
をタップする。



2

パスワード有無をタップし、スイッチを「ON」
（緑色）にする。
※前の画面に戻る場合は、
「<設定」をタップする。



【補足説明】

- パスワードを変更しなかった場合、初期値「0000」でロックされます。

3

パスワードを設定して、
「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする。
※パスワードは、半角数字4桁で
設定する。



「携帯ブラウザ接続ID」または「接続ブラウザ接続パスワード」をタップし、ID及びパスワードを入力して「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。
※IDは、半角英数字0～16桁で入力する（記号入力不可）。
※パスワードは、半角英数字0桁または4～16桁で入力する（記号入力不可）。



【補足説明】

- 本設定を行う前に「主装置MACアドレス」「主装置容量」「httpsポート番号」を設定する必要があります。未設定の場合はエラーダイアログが表示されますので必ず設定してください。
- 本設定を行うことで、携帯ブラウザ接続時に必要なID及びパスワードを本アプリケーション内に保存することができます。
- 以下機能を利用する場合は、本設定を必ず行ってください。

機能	本アプリバージョン
着信時番号取得機能（Push通知）	3.0.00～
MA選択発信でインターネット経由の発信時間短縮機能を利用	2.4.00～
ラインキー機能	3.0.00～
ラインキー通知音	4.0.00～

- 本設定を0桁に設定した場合、携帯ブラウザ接続時に手動でID及びパスワードを入力する必要があります。

ご注意

- パスワードを忘れた場合、アプリケーションを再インストールする必要があります。再インストールした場合、設定データは初期に戻ります。事前にエクスポートした設定データをiTunes経由でPCへ保存している場合には、エクスポートファイルは残りますので、再インストール後にiTunes経由でエクスポートファイルを端末へ保存の上、インポートしてください。ただし、パスワード設定の全ての設定データはインポート・エクスポートの対象外となりますので、再度設定を行ってください。
- エクスポートした設定データをiTunes経由でPCへ保存する場合及びアプリケーションの再インストール後にエクスポートファイルを端末へ保存する場合は、以下の手順を参考にしてください（iTunesのバージョンによっては、若干手順が異なることがあります）。
 - ①iTunesでPCへ接続した端末の詳細画面から「App」画面を開き、「ファイル共有」欄から本アプリケーションを選択する。
 - ②エクスポートした設定データをPCへ保存する場合は、保存するファイルを選択し、「保存先…」ボタンクリック後に保存先を選択する。
 - ③アプリケーションの再インストール後等にエクスポートファイルを端末へ保存する場合は、「ファイルを追加…」ボタンクリック後に保存するファイルを選択する。



※iTunesの画面はバージョンによって異なる場合があります。

3. アプリケーションの設定

インポート・エクスポート

1. 設定ファイルをエクスポートすることができます。

1

設定画面で
「インポート・エクスポート」
をタップする。



2

エクスポートをタップ
すると、ファイル名が表示
されるので、「OK」を
タップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする。

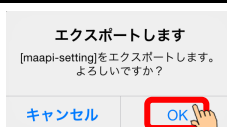


【補足説明】

- ファイル名は変更することもできます。ファイル名を変更する場合、表示されているファイル名をタップし、文字を削除した後指定するファイル名を1～16文字の範囲で入力してください。
※半角英数字及び記号以外は設定不可です(半角英数字及び記号以外を入力して「OK」をタップした場合は、「エクスポートファイル名が設定できません」のダイアログが表示されます)。

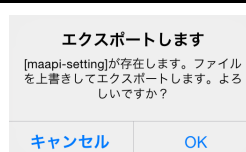
3

「エクスポートします」
が表示されるので、
「OK」をタップする。
※前の画面に戻る場合は、
「キャンセル」をタップする。



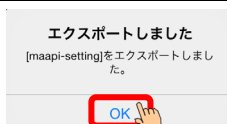
【補足説明】

- 同一のファイル名がある場合には右記の画面が表示されます。



4

「エクスポートしまし
た」が表示されるので、
「OK」をタップする。



ご注意

- エクスポートしたデータはP Cのメモ帳等で編集可能ですが、データが変更された場合、正常にインポートできないことがあります。
- ペアリング設定及びパスワード設定の全ての設定データと履歴のデータはエクスポートの対象外となります。

3. アプリケーションの設定

インポート・エクスポート

2. 設定ファイルをインポートすることができます。

1

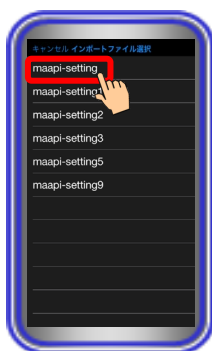
設定画面で
「インポート・エクスポート」
をタップする。



2

インポートをタップすると、インポート可能なファイルがリストに表示されるので、インポートするファイル名をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



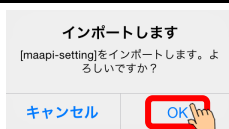
【補足説明】

・インポート可能なファイルが全てリストに表示されます。

3

「インポートします」が表示されるので、「OK」をタップする。

※前の画面に戻る場合は、「キャンセル」をタップする。



4

「インポートしました」が表示されるので、「OK」をタップする。



ご注意

- 「インポートできませんでした」が表示された場合は、ファイル及びファイル名を確認して再度インポートを実行してください。
- 「[[ファイル名]をインポートしました。一部の項目はインポートできませんでした。』のダイアログが表示された場合は、全ての設定データがインポートできていない可能性がありますので、設定データのご確認をお願いします。
- エクスポートしたデータはPCのメモ帳等で編集可能ですが、データが変更された場合、正常にインポートできないことがあります。
- ペアリング設定及びパスワード設定の全ての設定データと履歴のデータはインポートの対象外となります。

3. アプリケーションの設定

プライバシーポリシー

開発元のプライバシーポリシーが掲載されたWebページを表示します。
【本アプリケーションバージョン：2.1.00～】

- 1 設定画面で「プライバシーポリシー」をタップする。



- 2 端末にインストールされている「Safari」が起動し、プライバシーポリシーが掲載されたWebページの画面へ表示が切り替わる。

【補足説明】

- ネットワーク環境やWebページのリンク先の状況等が不安定である場合、画面が切り替わらないことがあります。
- 端末の「設定アプリ（「一般」→「機能制限」の順でタップ（※））」から「Safari」の項目を機能制限している場合は下記のエラーダイアログが表示され、Webページの画面を表示することができません。

※OSによっては、以下の手順となります。

「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」
→「コンテンツとプライバシーの制限」のスイッチ部分（「ON」にする）→「許可されたApp」の順でタップ

ブラウザアプリの起動に失敗しました

起動できるブラウザアプリがありません。

OK

3. アプリケーションの設定

Q&A

本アプリケーションに関するQ&Aが掲載されたWebページを表示します。
【本アプリケーションバージョン：2.1.00～】

- 1 設定画面で「Q&A」を
タップする。



- 2 端末にインストールされている「Safari」
が起動し、Q&Aが掲載されたWebページ
の画面へ表示が切り替わる。

【補足説明】

- ネットワーク環境やWebページのリンク先の状況等が不安定である場合、画面が切り替わらないことがあります。
- 端末の「設定アプリ（「一般」→「機能制限」の順でタップ（※））」から「Safari」の項目を機能制限している場合は下記のエラーダイアログが表示され、Webページの画面を表示することができません。

※OSによっては、以下の手順となります。

「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」
→「コンテンツとプライバシーの制限」のスイッチ部分（「ON」にする）→「許可されたApp」の順でタップ

ブラウザアプリの起動に失敗しました

起動できるブラウザアプリがありません。

OK

3. アプリケーションの設定

MA選択発信設定、ワンタッチ設定のボタン位置変更

MA選択発信設定（MA選択発信一覧画面）及びワンタッチ設定は、ボタンの位置を自由に移動することができます。

※下記は、ワンタッチ設定の例になります。

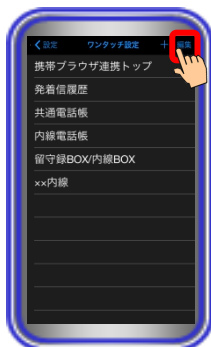
1

設定画面で
「ワンタッチ設定」
をタップする。



2

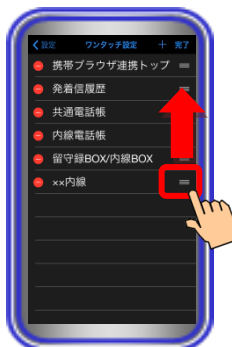
「編集」をタップする。
※設定画面に戻る場合は、
「<設定」をタップする。



3

≡ をタップしながら
移動したい場所まで
スライドさせ、指を画面
上から離し、「完了」を
タップする。

※設定画面に戻る場合は、
「<設定」をタップする。



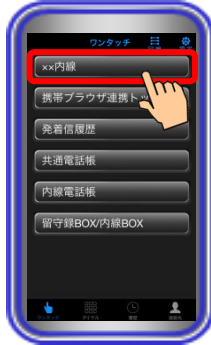
4. 操作方法

ワンタッチ（発信）

内線番号や特番を設定しているワンタッチボタンをタップすることで、ワンタッチ発信することができます。

1

ワンタッチ画面で内線番号や特番が設定されたワンタッチボタンをタップする。



2

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ワンタッチ画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順3の動作となる

（ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は除く。詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。）



【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合（外線番号指定や外線自動発信グループを選択後）は、MA選択発信を選択して発信します。
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。
主装置経由の発信にはなりません。
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能（発信）」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です（「Siシリーズ主装置プログラム版数：6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.4.00～」）。
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順3の動作となります。
※ダイアログ表示中、本アプリケーションをバックグラウンドの状態としないようにご注意ください（iOS側の制約により、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗することがあるため）。

MA選択発信情報送信中

インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルド証明書を実インストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

3

標準電話アプリが
自動で起動し、
発信する。



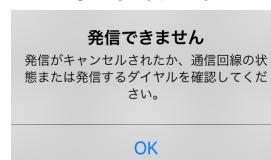
【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」＋「,」（ポーズ）＋「特番（内線番号）」になります（※）。
「主装置設定」－「ポーズ時間」で設定した時間分「,」（ポーズ）が追加されます。（「,」（ポーズ）1つで3秒）
※MA選択発信の発信時間短縮機能利用時、発信先の電話番号は「主装置電話番号」のみとなります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。
- 手順2の操作後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが（IPBT転送）は対象外）、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に本手順の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ
（MA発信の場合の一例）



エラーダイアログ

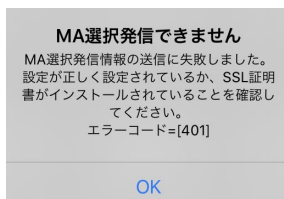


4

通話が終了したら標準電話アプリの
「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

- 端末ヘルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順2でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

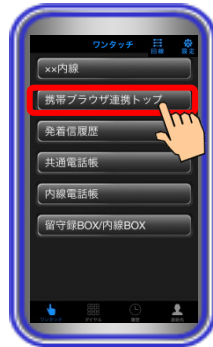
4. 操作方法

ワンタッチ（携帯ブラウザ連携）

携帯ブラウザ連携用のWEBページを指定しているワンタッチボタンをタップすることで、主装置WEBに接続することができます。

1

携帯ブラウザ連携用の「WEBページ指定」を設定したワンタッチボタンをタップする。

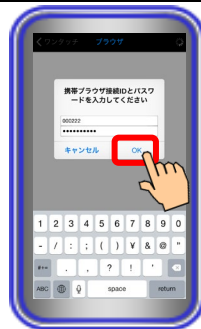


【補足説明】

- ワンタッチボタンには、携帯ブラウザ連携用のボタンを初期設定してあります（「携帯ブラウザ連携トップ」、「発着信履歴」、「共通電話帳」、「内線電話帳」、「留守録BOX／内線BOX」の各ボタン）。必要が無い場合は、「設定」－「ワンタッチ設定」で各ボタンを削除してください。

2

本アプリケーション内のブラウザが起動するので、携帯ブラウザ接続IDとパスワードを入力して「OK」をタップする。



【補足説明】

- 携帯ブラウザ接続時のIDとパスワードはあらかじめ本アプリケーション内に保存しておくことで、入力を省略することができます。保存方法は「アプリケーションの設定」－「パスワード設定」をご覧ください。
※ワンタッチボタンを押すと、IDとパスワードが入力された状態のダイアログが表示されます。
- 本手順において、手動で携帯ブラウザ接続時のIDとパスワードを入力した場合、本アプリケーション内にIDとパスワードは保存されません。

ブラウザ画面が表示される。

※以降の操作は、携帯ブラウザ連携機能と同様。

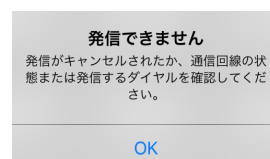


【補足説明】

- ・ブラウザ画面に表示されている「戻る」ボタンを押した場合、一つ前の画面が表示されます。
- ・ブラウザ画面で端末のホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合、ホーム画面に戻ります。再度本アプリケーションを起動した場合、ブラウザ画面の表示は終了し、ワンタッチ画面が表示されます。
- ・ブラウザ画面で、左上に表示されている「<ワンタッチ」をタップした場合、ワンタッチ画面に戻ります。
- ・ブラウザ画面にアドレスバーは表示されません（URLの直接入力ではできません）。
- ・セキュリティの関係上、約6分間ブラウザ画面が表示されないことがあります。
- ・ブラウザ画面の表示後、主装置の共通電話帳や外線関連の各種履歴画面から端末の標準電話アプリを使用した直接発信を行う場合、発信する電話番号をタップ後に発信の動作となります（本アプリケーションバージョン：2.1.00～）。
※Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～
その際、タップした電話番号が3桁以下の場合には、携帯発信時と同様に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。そのまま発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- ・端末の標準電話アプリを使用した直接発信について、電話番号のタップ後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に発信の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ（一例）

エラーダイアログ



ご注意

- 携帯ブラウザ連携機能を利用する際、セキュリティの関係上、事前に端末ヘルド証明書
のインストールが必要となります（Xシリーズ主装置「プログラム版数：2-1版～」のサーバ
証明書自動更新機能を使用する場合は証明書のインストール操作不要）。ルート証明書をイン
ストールしていない場合は、ワンタッチボタンのタップ後に右記のような画面（例）が表示され
ますので、以下の手順（画面は主装置がiFシリーズの場合の一例です）を参考に必ずルート証明
書のインストールを行ってください。

① 端末の標準ブラウザ(Safari)等で、

主装置がiFシリーズの場合は

URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(ifccus/ifccum).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」へ、

主装置がSiシリーズの場合は

URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(siccus/siccula/sicculb).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」へ、

主装置がXシリーズの場合は

URL「https://主装置MACアドレス.主装置容量(xiccus/xiccula/xicculb).hoshunet.jp:50010/m/ca/cert.der」
へアクセスします。

※1：「50010」は主装置のhttpsポート番号の初期値となります。販売店にご確認のうえ、httpsポート番号が初期値から
変更されている場合は、変更後の値にしてください。

※2：アクセス後にセキュリティに関する警告画面が表示された場合は、そのまま詳細を表示し、画面の表示に従ってアク
セスを続行してください。

② 認証画面（端末やOSによっては表示が異なることがあります）が表示されるので、主装置
のWeb設定用の工事者アカウント（ユーザ名及びパスワード）を入力し、「ログイン」をタッ
プします。

※1：主装置のWeb設定用の工事者アカウント（ユーザ名及びパスワード）の初期値は、
「ユーザ名:admin、パスワード:初期設定なし（文字を入力しない状態）」となります。
販売店にご確認のうえ、工事者アカウントが初期値から変更されている場合は、
変更後の設定値を正しく入力してください。

※2：「ログイン」をタップ後に構成プロファイルの表示に関するダイアログが表示された
場合は、「許可」をタップしてください。



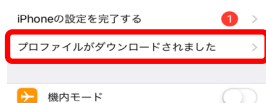
③ 右上の「インストール」をタップします。

※1：iOS12.2以上の端末の場合、手順②の操作後に以下の操作を順に行うことで右記の
インストール画面が表示されます。

- ・ダウンロード完了のダイアログが表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをタ
ップします。

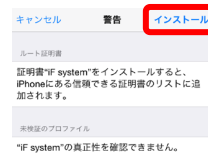


- ・端末の「設定アプリ」を起動し、「プロファイルがダウンロードされました」と表示
されている部分をタップします。



※2：端末にパスコードを設定している場合は、この後に表示される画面でパスコードを
入力します。

④ 再度右上の「インストール」をタップし、この後に画面下へ表示される「インストール」
をタップします。



⑤ 右上の「完了」をタップし、ルート証明書のインストールが完了となります。



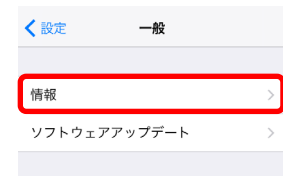
※手順①を行った後、「サーバの識別情報を検証できません」の画面が表示された場合は、
「続ける」をタップしてください。その後、手順②の認証画面が表示されます。



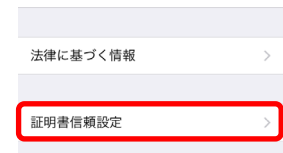
ご注意

- 以下のような場合は、一度端末にルート証明書をインストールしている場合であっても、必ず本手順に従って各シリーズ用(※)の最新のルート証明書をインストールしてください(古いルート証明書は事前に削除してください)。
※ 「iFシリーズの主装置を利用している場合はiFシリーズ用のルート証明書」のように各主装置シリーズ用のルート証明書が必要となります。iFシリーズ用のルート証明書をSiシリーズの主装置で利用することはできません。
 - ・ iFシリーズからSiシリーズなど異なるシリーズの主装置へ入れ替えを行った場合
- ルート証明書のインストール後に端末の「証明書信頼設定」で状態を有効にする必要があります。
「証明書信頼設定」で状態が無効の場合、ルート証明書をインストールしている場合であっても携帯ブラウザ連携機能を利用することができませんので、以下の手順を参考に必ず状態を有効にしてください。(画面は一例です)

① 端末の「設定アプリ」を起動し、「一般」→「情報」の順でタップします。



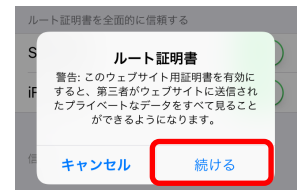
② 「証明書信頼設定」をタップします。



③ 利用するシステムの証明書をタップします。



④ 確認のダイアログが表示されるので、「続ける」をタップします。



⑤ ルート証明書の状態が有効になっていることを確認します。



※既にルート証明書がインストールされている端末でOSのバージョンアップを行った場合、「証明書信頼設定」は有効の状態
で引き継がれますが、ご利用前に必ず状態の確認を行ってください。

4. 操作方法

ダイヤル

ダイヤル画面で指定したダイヤルで発信することができます。

1

タブバーの「ダイヤル」をタップする。



2

特番や電話番号をタップして、「発信」をタップする。



【補足説明】

- ダイヤルを1文字削除する場合、 をタップします。
- ダイヤル全てを削除する場合、 をロングタップします。

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順4の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は除く。詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。
そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。
主装置経由の発信にはなりません。
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。
そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順4の動作となります。
※ダイアログ表示中、本アプリケーションをバックグラウンドの状態としないようにご注意ください(iOS側の制約により、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗することがあるため)。

MA選択発信情報送信中

インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルート証明書をインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

標準電話アプリが
自動で起動し、
発信する。



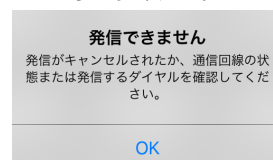
【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」＋「,」（ポーズ）＋「特番（内線番号）」になります（※）。
「主装置設定」－「ポーズ時間」で設定した時間分「,」（ポーズ）が追加されます。（「,」（ポーズ）1つで3秒）
※MA選択発信の発信時間短縮機能利用時、発信先の電話番号は「主装置電話番号」のみとなります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。
- 手順3の操作後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが（IPBT転送）は対象外）、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に本手順の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ
（MA発信の場合の一例）



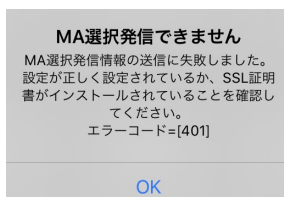
エラーダイアログ



通話が終了したら標準電話アプリの
「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

- 端末ヘルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順3でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

4. 操作方法

履歴

本アプリケーションを利用して発信した履歴を確認することができます。また、折り返し発信に利用することができます。

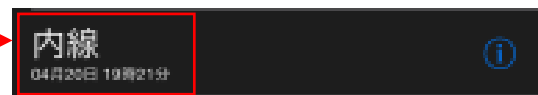
1

タブバーの「履歴」をタップする。



2

アプリケーションで発信した履歴が表示される。



連絡先に登録済みの場合は「名称」、登録されていない場合は「特番または内線番号/電話番号」と「発信時」の日時が表示される。

上段：「名称」もしくは「特番または内線番号/電話番号」
下段：発信時の日時

【補足説明】

- ① をタップすると、履歴詳細を確認することができます。
- 履歴詳細画面で「発信」をタップすると、発信方法の選択ダイアログが表示されます。
- 連絡先に登録されていない履歴は、連絡先に登録することができます（連絡先登録をタップした場合、標準連絡先アプリが起動します）。
- 履歴を削除する場合、ごみ箱ボタンをタップします。
ごみ箱ボタンをタップすると、全ての履歴が削除されます。
- 任意の履歴のみを削除する場合、削除する履歴の番号を左にスライドし、リストの右に表示される「削除」ボタンをタップします。
その後、削除確認のダイアログが表示されます（iOS11以上の端末では履歴の番号を画面の左端までスライドした場合、削除確認のダイアログが表示されます）。
- 履歴の表示件数は最大 100 件までとし、100 件を超える場合は、日時の古い履歴から順に削除されます。
- 標準連絡先アプリの連絡先登録件数が増えることにより、履歴画面で上下にスライドした際の動作が遅くなることがあります。
- 携帯ブラウザ連携機能で端末の標準電話アプリから直接発信した場合（本アプリケーションバージョン：2.1.00～）やIPBT電話機連携機能で携帯発信した場合（本アプリケーション：2.0.00～）においても、通常の携帯発信時と同様の履歴として表示されます。

3

発信したい履歴を
タップする。



4

発信方法の選択ダイアログ
が表示されるので、
発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、
履歴画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない
場合は、本手順のダイアログが
表示されずに手順5の動作と
なる

(ただし、MA選択発信設定時及
び携帯発信設定時に発信相手の
特番または内線番号/電話番号が
3桁以下の場合は除く。
詳細は、右記の補足説明欄をご覧
ください。)



【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。
そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。
主装置経由の発信にはなりません。
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。
そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順5の動作となります。
※ダイアログ表示中、本アプリケーションをバックグラウンドの状態としないようにご注意ください(iOS側の制約により、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗することがあるため)。

MA選択発信情報送信中

インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、
発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルート証明書をインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

標準電話アプリが 自動で起動し、 発信する。



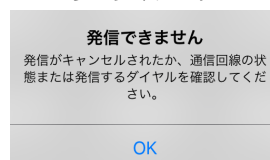
【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」＋「,」（ポーズ）＋「特番（内線番号）」になります（※）。
「主装置設定」－「ポーズ時間」で設定した時間分「,」（ポーズ）が追加されます。（「,」（ポーズ）1つで3秒）
※MA選択発信の発信時間短縮機能利用時、発信先の電話番号は「主装置電話番号」のみとなります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。
- 手順4の操作後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが（「IPBT転送」は対象外）、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に本手順の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ
（MA発信の場合の一例）



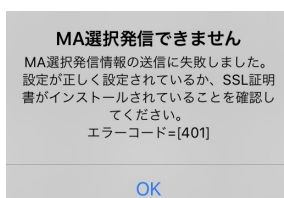
エラーダイアログ



通話が終了したら標準電話アプリの 「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

- 端末ヘルツ証明書を実インストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順4でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

- 履歴として保存されている25桁以上の番号に対してMA選択発信の発信時間短縮機能を利用した場合、主装置へのダイヤルデータ送信が成功した場合でも正常に発信できないことがあります。
- 履歴として保存されている「*、#」以外の文字列を含む番号に対しては、MA選択発信の発信時間短縮機能を利用することができません（主装置へのダイヤルデータ送信に失敗するため）。

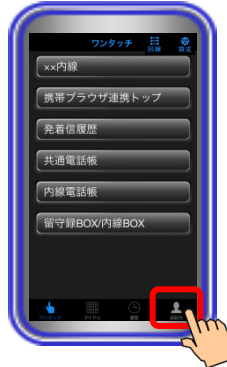
4. 操作方法

連絡先

スマートフォンで利用している標準連絡先を本アプリケーションで利用します。

1

タブバーの「連絡先」をタップする。



【補足説明】

- 「連絡先」をタップ後は、下記のようなダイアログが表示され、連絡先の取得を行います（本アプリケーションバージョン：2.1.00～）。標準連絡先の登録件数が多い場合、ダイアログの表示時間が長くなることがあります。また、連絡先画面が表示されることにダイアログは表示されます。
- ※ダイアログ表示中に連絡先の取得に失敗して正常に連絡先が表示されない場合は、必ず本アプリケーションを再起動してからご利用ください。

連絡先取得中

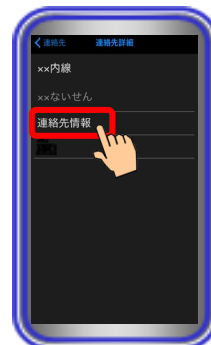
2

連絡先画面が表示される。



【補足説明】

- ① をタップすると、連絡先詳細を確認することができます。
- 連絡先詳細画面で「連絡先情報」をタップすると、標準電話アプリの情報画面が表示されるので、右上の「編集」をタップして連絡先情報の編集を行うことができます。



- 連絡先詳細画面で電話番号をタップすると、発信方法の選択ダイアログが表示されます。
- 連絡先は、標準の連絡先を利用しています。

発信したい連絡先を
タップする。



【補足説明】

- 連絡先画面でインデックス検索をすることが可能です。右側のインデックス表示をタップすると、検索データの先頭に表示が移動します。
- 連絡先画面のインデックス検索について、検索データは連絡先に登録されたふりがなを利用します。
※「他」の表示については、英数字と記号、ふりがな登録無しをまとめて表示します。

発信方法の選択ダイアログ
が表示されるので、
発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、
連絡先画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない
場合は、本手順のダイアログが
表示されずに手順5の動作と
なる

(ただし、MA選択発信設定時及
び携帯発信設定時に発信相手の
特番または内線番号/電話番号が
3桁以下の場合は除く。
詳細は、右記の補足説明欄をご覧
ください。)



【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合 (外線番号指定や外線自動発信グループを選択後) は、MA選択発信を選択して発信します。
※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。
主装置経由の発信にはなりません。
※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。
そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能 (電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能 (発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です (「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。
その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順5の動作となります。
※ダイアログ表示中、本アプリケーションをバックグラウンドの状態としないようにご注意ください (iOS側の制約により、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗することがあるため)。

MA選択発信情報送信中

インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、
発信時間短縮機能を利用することができません。

- ① インターネットに接続できない場合
- ② 端末ヘルド証明書を実インストールしていない場合
- ③ 携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

標準電話アプリが 自動で起動し、 発信する。



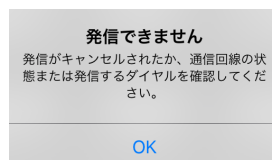
【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」＋「,」（ポーズ）＋「特番（内線番号）」になります（※）。
「主装置設定」－「ポーズ時間」で設定した時間分「,」（ポーズ）が追加されます。（「,」（ポーズ）1つで3秒）
※MA選択発信の発信時間短縮機能利用時、発信先の電話番号は「主装置電話番号」のみとなります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。
- 手順4の操作後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが（「IPBT転送」は対象外）、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に本手順の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ
（MA発信の場合の一例）



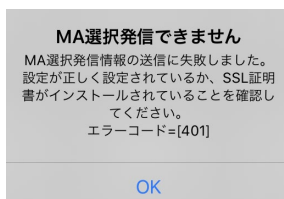
エラーダイアログ



通話が終了したら標準電話アプリの 「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

- 端末ヘルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順4でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

- 連絡先として登録されている25桁以上の番号に対してMA選択発信の発信時間短縮機能を利用した場合、主装置へのダイヤルデータ送信が成功した場合でも正常に発信できないことがあります。
- 連絡先として登録されている「*、#」以外の文字列を含む番号に対しては、MA選択発信の発信時間短縮機能を利用することができません（主装置へのダイヤルデータ送信に失敗するため）。

4. 操作方法

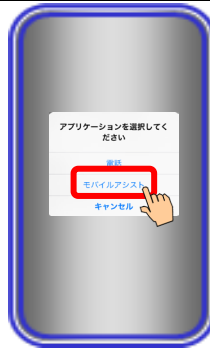
URLスキーム発信機能

外部アプリケーションに表示されている電話番号をタップすることで本アプリケーションを起動し、各種発信を行うことができます。※本アプリケーションに対応している外部アプリケーション及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00」より利用可能

1

外部アプリケーション
に表示されている電話
番号のリンクをタップ
するとアプリの選択ダイ
アログが表示されるので、
本アプリケーションを
選択する。

※画面は一例です。
実際は若干異なることもあり
ます。



2

ダイヤル画面に電話番号
が表示された状態で
本アプリケーションが
起動するので、「発信」
をタップする。



【補足説明】

- パスワードを設定している場合は、ダイヤル画面が表示される前にパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して「OK」ボタンをタップすると、ダイヤル画面が表示されます。
※誤ったパスワードを入力した場合、その後正しいパスワードを入力してもダイヤル画面は表示されず、基本スクリーンに設定している画面が表示されます。
その後、タブバーの「ダイヤル」をタップしても電話番号は表示されません。

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、発信方法を選択する。

※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。

※発信方法を複数設定していない場合は、本手順のダイアログが表示されずに手順4の動作となる

(ただし、MA選択発信設定時及び携帯発信設定時に発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は除く。詳細は、右記の補足説明欄をご覧ください。)



【補足説明】

- MA発信 : 主装置の内線番号や特番を利用する場合は、MA発信を選択して発信します。
- MA選択発信 : 特番の後に追加ダイヤルが必要な発信の場合(外線番号指定や外線自動発信グループを選択後)は、MA選択発信を選択して発信します。
 ※「MA選択発信」選択後に「MA選択発信を選択してください」のダイアログを表示します。
 そのままMA選択発信する場合は、表示されるMA選択発信設定の登録リストから発信に使用する設定データをタップしてください。
- 携帯発信 : 携帯からそのまま発信します。
主装置経由の発信にはなりません。
 ※発信相手の特番または内線番号/電話番号が3桁以下の場合は、「携帯発信」選択後に「携帯発信します」の確認ダイアログを表示します。
 そのまま携帯発信する場合は、「OK」をタップしてください。
- IPBT転送 : 詳細は「IPBT電話機連携機能(電話番号転送からの主装置経由の発信)」のページをご覧ください。
- ラインキー発信 : 詳細は「ラインキー機能(発信)」のページをご覧ください。
- MA選択発信について、インターネット経由の発信時間短縮機能利用により、発信時間の短縮を行うことが可能です(「Siシリーズ主装置プログラム版数: 6-1版～」及び「本アプリケーションバージョン: 2.4.00～」)。
 その場合、MA選択発信設定の登録リストから設定データをタップ後に下記のようなダイアログが表示され、主装置へのダイヤルデータ送信後に手順4の動作となります。
 ※ダイアログ表示中、本アプリケーションをバックグラウンドの状態としないようにご注意ください(iOS側の制約により、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗することがあるため)。

MA選択発信情報送信中

インターネットを経由する関係上、以下のような場合は、発信時間短縮機能を利用することができません。

- ①インターネットに接続できない場合
- ②端末ヘルート証明書をインストールしていない場合
- ③携帯ブラウザ連携機能の利用に必要な設定を正しく行っていない場合

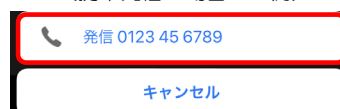
標準電話アプリが 自動で起動し、 発信する。



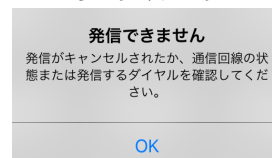
【補足説明】

- 標準電話アプリの発信先の電話番号は、「主装置設定」の「主装置電話番号」＋「,」（ポーズ）＋「特番（内線番号）」になります（※）。
「主装置設定」－「ポーズ時間」で設定した時間分「,」（ポーズ）が追加されます。（「,」（ポーズ）1つで3秒）
※MA選択発信の発信時間短縮機能利用時、発信先の電話番号は「主装置電話番号」のみとなります。
- MA発信またはMA選択発信（発信時間短縮機能利用時は除く）の場合、相手応答後に「主装置設定」の「ポーズ時間」で設定した時間の待ち合わせをしてから特番送出します。
- 手順3の操作後に下記の発信確認ダイアログが表示されますが（「IPBT転送」は対象外）、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に本手順の動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合（iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合）は、下記のエラーダイアログが表示され（操作によっては表示されないことがあります）、発信が中止されます。

発信確認ダイアログ
（携帯発信の場合の一例）



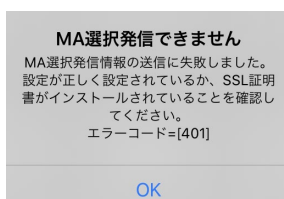
エラーダイアログ



通話が終了したら標準電話アプリの 「通話終了」ボタンをタップする。

ご注意

- 使用している外部アプリケーションによっては、外部アプリケーション側の制約などで本機能を利用できないことがあります。
- iOS側の制約により、履歴詳細画面から連絡先登録の選択画面または登録画面及び連絡先詳細画面から連絡先の情報画面または編集画面を表示している状態では本機能を利用することができません（手順1で電話番号のリンクをタップしてもダイヤル画面が表示されません）。
- 端末ヘルート証明書をインストールしていない場合、MA選択発信時に発信時間短縮機能を利用することができません。
発信時間短縮機能を利用する場合は、事前にルート証明書を必ずインストールの上、関連する設定及び操作を行ってください。
- 手順3でMA選択発信の発信時間短縮機能利用時、主装置へのダイヤルデータ送信に失敗した場合は、下記のようなダイアログが表示されます。



その場合の対処については、ダイアログ内に記載のエラーコードの内容（上記は一例）をご確認の上、主装置側の取扱説明書に記載の「携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う」の内容をご覧ください。販売店にご確認ください。

4. 操作方法

IPBT電話機連携機能（電話番号転送からの主装置経由の発信）

本アプリケーションから主装置に接続したIPBT電話機へ電話番号を転送し、IPBT電話機から主装置経由の発信を行うことができます。 ※本機能は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」で利用可能

1

ダイヤル画面で特番や電話番号を入力後に、「発信」をタップする。



【補足説明】

- 事前に本アプリケーションとIPBT電話機がペアリングしていることが本機能を利用する前提条件となります。ペアリング設定について記載しているページを参考に、必ず事前にペアリング設定を行ってください。
- ワンタッチ画面/履歴画面/連絡先画面からも本機能の利用は可能です。その場合は、発信する特番や電話番号のボタンまたはリストをタップしてください。

2

発信方法の選択ダイアログが表示されるので、「IPBT転送」をタップする。
※「キャンセル」をタップすると、ダイヤル画面に戻る。



【補足説明】

- 端末の「Bluetooth設定」が無効またはIPBT電話機とペアリングしていない場合は、以下エラーダイアログが表示されます。設定の見直しを行ってください。



3

数秒後にIPBT転送完了のダイアログが表示されるので、OKをタップする。
その後、IPBT転送が成功していればIPBT電話機から主装置経由の発信が可能となる。



【補足説明】

- IPBT転送成功以降の操作や動作の詳細については、IPBT電話機側の取扱説明書をご覧ください。
- IPBT転送後に本アプリケーション側から追加ダイヤル等の操作はできません。必要時はIPBT電話機側で操作を行ってください。

ご注意

- 本アプリケーションからIPBT電話機へ転送できる文字列は、「0～9、*、#」となります。記号等は転送できません。

4. 操作方法

IPBT電話機連携機能（本アプリケーションからの携帯発信）

主装置に接続したIPBT電話機から本アプリケーションへ電話番号の通知を行い、本アプリケーションから携帯発信を行うことができます。※本機能は「Siシリーズ主装置プログラム版数：1-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：2.0.00～」で利用可能

1

IPBT電話機側で電話番号の通知操作を行うと、通知された電話番号へ本アプリケーションからの携帯発信の動作となる。



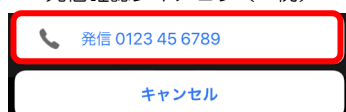
【補足説明】

- ・事前に本アプリケーションとIPBT電話機がペアリングしていること及び端末の「Bluetooth設定」においてもIPBT電話機とペアリングしていることが本機能を利用する前提条件となります。ペアリング設定について記載しているページ及びIPBT電話機側の取扱説明書を参考に、必ずペアリング設定を行ってください。
- ・IPBT電話機側での電話番号通知の操作方法や本アプリケーションからの携帯発信以降の動作については、IPBT電話機側の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本アプリケーションがバックグラウンドの状態ではIPBT電話機からの電話番号通知後、端末に表示されるバナーまたはダイアログ(通知)をタップして、本アプリケーションをフォアグラウンドの状態にすることで携帯発信の動作となります(ペアリングを正常に行えていることが前提)。
※本アプリケーションをバックグラウンドの状態を利用する場合は、端末側の設定で本アプリケーションの「通知を許可」の設定を必ず有効にしてください。
バナーやダイアログ(通知)の動作は端末側の設定・操作やOSによって異なることがあります。
- IPBT電話機側で操作を行った後、下記の発信確認ダイアログが表示されますが(本アプリケーションがバックグラウンドの状態の場合、バナーまたは通知をタップしてフォアグラウンドの状態とした後に表示されます)、電話番号をご確認のうえ、「発信」をタップしてください。その後、正常に標準電話アプリからの発信動作となります。
※発信確認ダイアログの表示後に「キャンセル」をタップまたは端末のホームボタンを押した後に再度本アプリケーションを表示した場合(iOS11以上の端末ではホームボタンを押した場合またはホームバーを上方向にスワイプした場合)は、発信が中止されます。
IPBT電話機側で操作を行った後、約10秒でIPBT電話機は待機状態となります。IPBT電話機が待機状態となった場合は、一度「キャンセル」をタップして発信を中止し、再度IPBT電話機側の操作を行ってください。

発信確認ダイアログ（一例）



4. 操作方法

着信時番号取得機能（Push通知）

主装置からのMA着信時にPush通知を使って番号情報を取得し、バナーに表示することができます。
着信時番号取得機能(Push通知)は、「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」で利用可能です。主装置容量でiFシリーズを選択している場合は利用できません。

1

主装置からのMA着信時に表示されるバナーをタップする。

※タップ後、本アプリケーションが起動しますが、端末側の状態により直ぐに手順2へ遷移する場合があります。



【補足説明】

- 発信元の情報が主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている場合、登録内容がバナーに表示されます。表示内容は以下のとおりです。

	【内線着信時】	【外線着信時】
1行目	「MA着信」＋内線番号	「MA着信」＋電話番号
2行目	内線名称	相手名称
3行目	－	付加情報1
4行目	－	付加情報2(※)

※バナーを下にスライドすると4行目が表示されます。

- 発信元の発信条件により、バナーの1行目は以下のように表示されることがあります。

非通知	発信元が番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっている。
公衆電話	発信元が公衆電話から発信している。
表示圏外	発信元がサービスの契約条件や回線の条件により電話番号を通知できない。

- 番号が通知されない着信の場合、「相手がわかりません」や「相手不明」が表示されることがあります。表示内容は主装置のデータ設定で変更でき、表示無しとすることもできます(表示無しの場合、バナーは表示されません)。
- 着信応答後、バナーは通知センターに残ります。
- 以下のような場合は、バナーが表示されません。
 - MA着信以外の着信。
 - 発信元の内線番号が未設定。
 - インターネットに接続できない。
 - 端末がスリープ状態等で着信画面の表示が遅れた。
- バナーの動作は端末側の設定・操作及びOSにより異なる場合があります。

2

標準電話アプリの画面が表示されるので、着信に応答する。



ご注意

- 主装置からのMA着信と同時にMA以外の着信があった場合、バナーの番号情報が正しく表示されないことがあります。
- 主装置の共通電話帳/内線電話帳に登録されている情報に外字が含まれていた場合、全角スペースに置き換えて表示されます。
- 着信時番号取得機能(Push通知)を使用するには、端末に主装置のルート証明書をインストールしている必要があります。インストール方法は「4. 操作方法」の「ワンタッチ(携帯ブラウザ連携)」の「ご注意」をご覧ください。

4. 操作方法

ラインキー機能（状態表示）

主装置に設定されたラインキーの状態を表示することができます。

ラインキーのランプ表示(点灯/点滅)は主装置の電話機のランプと同じです。

ラインキーの名称表示部分には「外線01～96」「DILINO1～96」「着信」「パーク」「機能なし」とラインキー名称設定に設定された文字が表示されます。

ラインキー機能は、「Siシリーズ主装置プログラム版数：7-1版～」及び「本アプリケーションバージョン：3.0.00～」で利用可能です。主装置容量でiFシリーズを選択している場合は利用できません。

1

ラインキーアイコン  をタップする。最新のラインキー画面が表示される。



【補足説明】

- ・ラインキーアイコンをタップ後、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が完了するとラインキー画面が更新されます。

2

ラインキー画面を下方向にスワイプする。最新のラインキーの状態に更新される。



【補足説明】

- ・スワイプ後、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が完了するとラインキー画面が更新されます。

ご注意

- ラインキー機能を使用するには、端末に主装置のルート証明書をインストールする必要があります。インストール方法は「4. 操作方法」の「ワンタッチ(携帯ブラウザ連携)」の「ご注意」をご覧ください。
- ラインキー情報の取得に失敗した時は、下記の様なエラーダイアログが表示されます。ダイアログの説明に従い設定などの見直しを行ってください。

ラインキー情報が取得できません

ラインキー情報の取得に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。

エラーコード=[1000]

OK

エラーダイアログ内の説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。

4. 操作方法

ラインキー機能（発信）

ラインキーに設定された「外線」「DILIN」「着信」を選択して、発信することができます。

1

ダイヤル画面で相手番号をダイヤルし、「発信」をタップする。

※ダイヤル以外の発信方法については「4.操作方法」の「ワンタッチ(発信)」「履歴」「連絡先」「URLスキーム発信機能」をご覧ください。



【補足説明】

- 「発信」タップ後、発信方法の選択ダイアログが表示される場合は、「ラインキー発信」をタップしてください。

2

ラインキー画面で発信に使用するラインキーをタップする。



【補足説明】

- ラインキーをタップすると、ラインキー押下情報送信中画面が表示され、プリセクション状態になり、「発信/応答」のタップが有効になります。
- ラインキー押下情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

ラインキー押下情報が送信できません
ラインキー押下情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。
エラーコード=[1001]

OK

- プリセクションは15秒で解除されます。
- 「発信/応答」タップ前に、別のラインキーに選択し直すことができます。

3

「発信/応答」をタップする。



【補足説明】

- 「発信/応答」をタップ後、オフフック情報送信中画面になり、送信が完了すると発信確認ダイアログが表示されます。表示内容をご確認の上、発信もしくはキャンセルをタップしてください。
- オフフック情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

オフフック情報が送信できません
オフフック情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。
エラーコード=[404]

OK

- 「発信/応答」をタップ後、主装置の状態によっては発信できない場合があります。

ご注意

- ラインキー発信できる文字列は「0～9、*、#」となります。記号などは発信できません。
- ラインキー押下情報送信時及びオフフック情報送信時に表示されるエラーダイアログの説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。

4. 操作方法

ラインキー機能（応答）

ラインキーに設定された「外線」「DILIN」「着信」「パーク」を選択して、着信や保留に応答することができます。

1

主装置経由で着信時に表示されるバナーまたはラインキーアイコン  をタップする。



【補足説明】

- ・バナー表示がスワイプなどで非表示になった場合は、ラインキーアイコンをタップしてください。
- ・バナー及びラインキーアイコンをタップすると、ラインキー情報取得中画面が表示され、取得が成功するとラインキー画面が表示されます。

2

着信中または保留中のラインキーをタップする。



【補足説明】

- ・ラインキーをタップすると、ラインキー押下情報送信中画面が表示され、プリセクション状態になり、「発信/応答」のタップが有効になります。
- ・ラインキー押下情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

ラインキー押下情報が送信できません
ラインキー押下情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。
エラーコード=[1001]

OK

- ・プリセクションは15秒で解除されます。
- ・プリセクション中は、「相手番号」及び「相手名称」が表示されます。
- ・「発信/応答」のタップ前に、別のラインキーに選択し直すことができます。

3

「発信/応答」をタップする。



【補足説明】

- ・「発信/応答」をタップ後、オフフック情報送信中画面になり、送信が完了すると発信確認ダイアログが表示されます。表示内容をご確認の上、発信もしくはキャンセルをタップしてください。
- ・オフフック情報送信時に、下記のようなエラーダイアログが表示される場合があります。ダイアログ内の説明に従い、設定などの見直しを行ってください。

オフフック情報が送信できません
オフフック情報の送信に失敗しました。ネットワーク環境や設定を見直してください。
エラーコード=[404]

OK

- ・「発信/応答」をタップ後、他の電話機が先に応答した場合は、応答できません。

ご注意

- ラインキー押下情報送信時及びオフフック情報送信時に表示されるエラーダイアログの説明で解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。